

出展企画

ALL DAY EXHIBITION

11.9 (sat) 時間枠出展タイムテーブル

A会場 日本科学未来館		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
1F	特設ステージ		Ab-616 10:30-12:00 国連が薦める昆虫食～昆虫を食べる時代がいつにやってくる～ 食用昆虫科学研究会	Ab-617 13:00-14:30 UNI-CUB実証実験成果報告 日本科学未来館
7F	みらいCANホール			Ab-602 13:00-14:30 ポッドキャストで地域を越えた科学コミュニケーション インターネットラジオ局くりらじ
	イノベーションホール みんなで作るWS		Ab-604 10:20-12:00 WS1 つくるコミュニケーション「最高の問い」セッション 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	Ab-605 13:00-14:30 WS2 つくるコミュニケーション「自分ゴトの問い」セッション 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
	交流サロン		Ab-607 10:30-13:30 理科に国語は必要!?親子で理科が好きになる語彙検定 福井大学 教育地域科学部 浅原雅浩 (ほか学生数名)	
	会議室1		Ab-609 10:30-12:00 見て!聞いて!かがく絵本の本読み隊がやってきた!パートIV 科学読物研究会	Ab-610 13:00-14:30 不思議!川の水を用いて振動反応が!! 桜美林大学 リベラルアーツ学群 非線形化学研究室
	会議室2			Ab-612 13:00-14:30 若者に発信する日本学術会議:<知の航海>シリーズから 日本学術会議
	会議室3		Ab-614 10:30-13:30 エネルギーの利用を体験しよう 科学技術振興機構 環境エネルギー研究開発推進部	

B会場 産業技術総合研究所 臨海副都心センター		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
本館 4F	第1会議室			Bb-712 13:30-14:30 地震の国にくらすー過去から学び、備えようー 産業技術総合研究所 臨海副都心センター
別館 11F	多目的室		Bb-701 10:30-12:00 ひとあしお先に出席者交流会 サイエンスアゴラ出席者有志	Bb-702 13:00-14:30 宿題～21世紀の科学の教科書 STS研究サークルFRD
	会議室1		Bb-704 10:30-12:00 生きものいるまちづくり(生物多様性は必要か?) 女性技術士の会	
	会議室2		Bb-706 10:30-12:00 サイエンスアゴラを歩こう! コミュニティ研究会	Bb-707 13:00-14:30 トークライブ・映画で語るサイエンス 粥川準二・斉藤勝司
	会議室3		Bb-711 11:00-12:00 みんなで行ってみよう!ー産総研臨海センターの見どころ、聞きどころー 産業技術総合研究所 臨海副都心センター	Bb-709 13:00-14:30 ドルトンさんのアトムから時を超えて 日本コンピュータ化学会

C会場 東京都立産業 技術研究センター		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
1F	エントランス			Cb-810 11:30-12:30 13:30-14:30 14:30-15:30 15:30-16:30 都産技研体験見学ツアー ～ものづくりの世界に触れてみよう～ 東京都立産業技術研究センター
2F	研修室244 (M2階奥)		Cb-803 10:30-12:00 学会アウトリーチ担当者のセッション 学会アウトリーチ担当有志	
5F	講堂	Cb-801 10:00-12:00 アゴラ生徒発表会開会式・生徒発表会 教員有志チーム 10:30-生徒発表会はM2階イノベーションハブで実施		Cb-802 U22科 科学技術
	531会議室		Cb-804 11:00-12:00 13:30-14:30 15:00-16:00 カラフルなオリジナルコースターをつくろう! 東京都立産業技術研究センター	

E会場 東京国際交流館		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
4F	会議室3		Ea-417 10:00-17:00 カラマジック!不思議な化学実験! 日本化学会 教育・普及部門 普及交流委員会	

…子ども向け …教育関係者向け …科学コミュニケーター向け

…11/9(土)のみ

…ポスター …展示・実演 …実験・工作 …対話型ワークショップ …ショー・講演 …実費あり

…11/10(日)のみ

…シンポジウム・トークセッション …ワークショップ・サイエンスカフェ

15:30-17:00		17:30-	
Ab-618	15:30-17:00 おかね道 金銭感覚の国際比較 国際研究交流大学村(東京国際交流館、日本科学未来館、産業技術総合研究所臨海副都心センター)		
Ab-603	15:30-17:00 シンポジウム 高校で学ぶべき「サイエンス」とは? 日本学会会議		
Ab-606	15:30-17:00 WS3 ポスト3・11の科学コミュニケーションを問う 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	Ab-619	17:30-19:30 WS4 サイエンスアゴラの未来 サイエンスアゴラ出展者限定 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
Ab-611	15:30-17:00 サイエンスカフェ「えねるぎいっ亭(エネルギーイッティ)」 法政大学 自然科学センター		
Ab-613	15:30-17:00 科学・技術でわかること、わからないことPart III 日本学会会議 科学と社会委員会 科学力増進分科会		
Ab-615	14:30-17:00 公開シンポジウム 自然に学ぶ新しいものづくり バイオテンプレート研究会		



15:30-17:00	
Bb-713	15:00-16:00 業を知り尽くす—ロボットやコンピュータも使いこなしたMolprofの挑戦— 産業技術総合研究所 臨海副都心センター
Bb-703	15:30-17:00 「地球に生きる素養」って何?—対話で考える、私と地球の付き合い方— 日本学会会議 地球惑星科学委員会 社会貢献分科会
Bb-705	14:30-17:00 本音で語る生命倫理—動物実験なぜ必要?なぜ反対?— 横山雅俊(市民科学研究室)、山本伸(サイコムキャリア)、#phdjp科学と社会ワーキンググループ
Bb-708	15:30-17:00 「こども科学オリンピック」親子の絆で科学技術を育てる ニコニコ科学研究所
Bb-710	15:30-17:00 「比べる」からはじめる科学コミュニケーション 日本シミュレーション&ゲーミング学会



15:30-17:00	
14:00-17:00 学者からの児童生徒へのメッセージ2013 振興機構 理数学習支援センター	



15:30-17:00	

A会場 最先端研究ゾーン	Aa-015 14:45~ WPI Science LIVE! 「夢の分子の登場」電気一光 変換 100%!」 安達千波矢(九州大学 ¹ CNER主任研究者)ほか
	12:00~13:30 サイエンスマーケット
D会場(屋外)東京国際交流館前	

出展企画

ALL DAY EXHIBITION

11.10 (sun) 時間枠出展タイムテーブル

A会場 日本科学未来館		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
1F	特設ステージ		Ab-665 10:30-12:00 SSH高校生ディベート「iPS細胞」 岐阜県立岐阜農林高等学校 生物工学科	Ab-666 13:00-14:30 「高校生によるサイエンスフェア」 埼玉県教育委員会
	みらいCANホール			Ab-652 13:00-14:30 科学技術のあたらしい伝えかた 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
7F	イノベーションホール みんなでつくるWS		Ab-654 10:30-12:00 WS5 科学屋台～直接科学に会いにいこう～ 「つくる、つながる、つかう」プロジェクト、科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	Ab-655 13:00-14:30 WS6 情報の救急箱としてのミドルメディアは可能か ミドルメディア実行委員会、科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター
	交流サロン		Ab-657 10:30-12:00 曇気楼(しんきろう)を手作りしよう！サイエンスはアートだ！ 夏目雄平	Ab-658 13:00-14:30 カードで学ぼう 「感染症ってなんですか？」 理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター
	会議室1		Ab-660 10:30-12:00 もしも地球惑星科学で科学コミュニケーションするなら Universal Earth (ユニアス)	Ab-661 13:00-14:30 逆はありませんか？ 電子部品の意外な素顔を見る センス・オブ・センシング
	会議室2		Ab-662 10:30-12:00 バイオメティクス最前線～研究者とのワークショップ 新学術領域「生物規範工学」	Ab-663 13:00-14:30 元素検定2013 ～元素クイズに挑戦しよう！～ 元素周期表同好会
	会議室3		Ab-609 10:30-12:00 見て聞いてかか！絵本の読本隊がやってきた！パートIV 科学読物研究会	Ab-664 13:00-14:30 はやのん理系漫画制作室 漫画で科学コミュニケーション はやのん理系漫画制作室

B会場 産業技術総合研究所 臨海副都心センター		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
本館 4F	第1会議室			Bb-771 13:00-16:00 未来の交通手段 マイクロモビリティを操縦してみよう 産業技術総合研究所 臨海副都心センター
別館 11F	多目的室		Bb-751 10:30-12:00 めざせ風つかい！セーリングカーを作ってみよう 東京学芸大学有志団体 RIKAI-Commu.	Bb-752 13:00-14:30 科学コミュニケーション活動の評価を考える 科学コミュニケーション研究会
	会議室1		Bb-754 10:30-12:00 ヒトで学べば高校の生物学はもっと楽しい！ 日本人類学会教育普及委員会・東京都生物教育研究会	Bb-755 13:00-14:30 シンポジウム「メディアとともに考える くすりの副作用」 くらしとバイオプラザ2.1
	会議室2			Bb-756 13:00-14:30 使いやすい研究費を求めて 科学技術振興機構 JST-PO研修院

C会場 東京都立産業 技術研究センター		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
1F	エントランス			Cb-810 11:30-12:30 13:30-14:30 14:30-15:30 15:30-16:30 都産技研体験見学ツアー ～ものづくりの世界に触れてみよう～ 東京都立産業技術研究センター
5F	講堂		Cb-850 10:30-12:00 みんなの2030年 内閣府	Cb-851 13:00-14:30 部活動で理数の力を高めよう～科学部顧問の討論会～ 科学技術振興機構 理数学習支援センター 連携学習担当
	531会議室		Cb-852 10:30-11:30 13:00-14:00 15:00-16:00 ペットボトルで掃除機をつくってみよう 東京都立産業技術研究センター	

E会場 東京国際交流館		10:00	10:30-12:00	13:00-14:30
3F	国際交流会議場		Eb-950 10:30-12:00 科学技術の智：分野を超えて新しい価値観をつくる 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	
	メディアホール		Eb-951 10:30-13:30 広報官というお仕事 ～職業としての科学コミュニケーションはどこへ向かうのか～ 科学技術広報研究会 (JACST)	
4F	会議室1		Eb-953 10:30-12:00 高校生脳クイズ大会 脳クイズ王に挑戦だ！ 日本神経科学学会、脳の世紀推進会議、科学技術振興機構、科学コミュニケーションセンター(小泉エネット)	Eb-954 13:00-14:30 若手研究者たちと考える、君達の、そして日本の未来 日本学術会議 若手アカデミー委員会
	会議室3		Ea-417 10:00-17:00 カラマジック！不思議な化学実験！ 日本化学会 教育・普及部門 普及交流委員会	

	15:30-17:00	
	Ab-653 15:30-17:00	👤
	総括セッション 科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	
	Ab-656 15:30-17:00	👤
	WS7 のぞく かかく～あなたの見てない、いつもの世界～ 総合研究大学院大学学術推進センター、科学技術振興機構 科学コミュニケーションセンター	
	Ab-659 15:30-17:00	👤👤👤
	ゲーム脳VS脳トレ 結局ゲームは勉強の敵?味方?? みけねこサイエンスプロジェクト	
	Ab-611 15:30-17:00	👤
	サイエンスカフェ「えねるぎいっ亭(エネルギーイッテイ)」 法政大学 自然科学センター	
	Ab-607 15:30-17:00	👤
	理科に国語は必要!?親子で理科が好きになる語彙検定 福井大学 教育地域科学部 浅原雅浩 (ほか学生数名)	



	15:30-17:00	
		👤👤👤
	Bb-753 15:30-17:00	👤
	ジオパークとユネスコエコパーク ジオツーリズム研究会	



	15:30-17:00	
		👤👤👤
		👤👤



	15:30-17:00	
	Eb-952 14:30-17:00	👤👤👤
	子供の才能をどう育てるか～大学等での事例から 科学技術振興機構 理数学習支援センター	
		👤👤👤



A会場 最先端研究ゾーン	Aa-015 15:00～15:30 WPI Science LIVE! 「睡眠・覚醒の謎に挑む」 柳沢正史(筑波大学ⅢS拠点長)ほか
D会場(屋外)東京国際交流館前	12:00～13:30 サイエンスマーケット

■来場者の皆さまより

- ほぼ全ての出し物が科学を分かりやすくアウトリーチする工夫がなされていて素晴らしい!(60代男性、技術開発・研究系)
- 色々なテーマの科学を分かりやすく、親しみやすい説明をしていて楽しかったです。数学を題材にした話があると良かったかなと思います。(20代男性、大学院生)
- 楽しい企画が沢山あって、一日では足りません。子どもも参加体験できるよう、分かりやすく熱く解説してくれたので、親子で楽しめました。高校生の理系の息子も小学生の娘も大満足でした。(40代女性、子ども連れ)
- 大人でも参加できる実験を増やしてほしい。(40代男性、技術開発・研究系)
- 予備知識がなくても、科学に接し気軽に質問できる機会がとても良いと思いました。(30代女性、子ども連れ)
- せっかくのブース、たくさんあり過ぎて回りきれません。夏休みなど長期休みにテーマごとに分けて開催するなどもう少し考えられると良いと思います。とっても楽しかったので、みんな回りじっくりプレゼンテーションを聞きたかったです。(50代女性)
- 職業としての科学コミュニケーションについて、色々とお話を伺えて良かったです。参加型のシンポジウムもとても楽しかったです。(30代女性、技術開発・研究系)
- パンフレットが多数あり戸惑った。1枚で地図、案内の載っているようなものがあると分かりやすい。子ども向け、大人(専門職)向けが、はっきり分かれていた方が良かった。(30代女性、子ども連れ)
- 科学に普段、あまり馴染みのない人が楽しく科学に接することの出来る素晴らしい企画だと思います。今後も絶やさず続けて下さい。(20代男性、技術開発・研究系)
- 日本の技術力は世界のトップレベルにあると思っています。その技術力が本当に社会に生かされているのか疑問に思っていたのですが、ここに来て研究者と話ができて非常に有意義でした。できればこういう広場を常設してほしい。(70代以上男性)

■出展者の皆さまより

- 科学の知識が半端じゃない小学生が何人かいた。こういう子どもが日本の将来を背負うのだと実感した。子ども、頑張れ!そして私も頑張らなければならない。
- 交流会を通じて、昨年度アゴラ場で出会った方々と再会できただけでなく、来館者やほかの出展者との交流の輪が広がったことが大変うれしかった。
- サイエンスコミュニケーションの分野に、本格的に参入する決意が固まりました!
- 小学生、高校生、親子連れ、専門家など幅広い市民が参加してくれた。市民に私たちが行っている研究の面白さ、大切さを伝えることや、意見交換ができて有意義であった。
- 子どもの理系の能力を伸ばすことに関心のある多くの大学関係者や学校関係者、一般の生徒にも参加してもらうことができればなおよかった。
- 今年も活気があり素晴らしかったです。シフトを組んで他の会場に行ったり、近くのブースの出展者との会話を楽しんだりできました。回を重ねるごとにアゴラの楽しみ方のバリエーションが増えました。
- 来場者だけでなく、出展者も楽しいイベントです。高校生に話したときが一番楽しかったな。高校生もっと来てね。
- 科学コミュニケーション能力のスキルアップを目指して出展しました。ほかのブースの内容、プレゼンテーションなど、大変参考となりました。
- 準備も大変でしたが、その苦労が吹き飛ばすほどのたくさんの笑顔に出会えて充実した気持ちです。出展を通して出展団体内の交流も深めることができて良かったです。
- 子どもから高齢者まで楽しんでもらえました。中には「人生で一番感動した」と評していただいた方もあり、出展=製作スタッフも元気をもらいました。
- 多くの方と科学の楽しさ、面白さを共有することは大きな喜びでした。子どもたちの驚きに見開かれた大きな目や、大人の「楽しかった!」の声にやりがいを感じました。アゴラは毎年楽しみにしている、年に一度の大きなイベントです。日頃の私たちの活動の集大成を發揮できる場であるとともに、ほかの出展者や参加者から多くのことを学ぶ場でもあります。アゴラのご縁のもとに、アゴラ以外の場でも活発に相互交流して、私たちの活動の輪は大きく広くなりました。参加者に過去のブックリストや内容のレジュメが欲しいと言われたので、今までアゴラに参加した内容を小冊子にまとめようかとも話しています。アゴラがこれからもますます発展してずっと続いていきますように祈っています。
- 科学に興味がある方が出展者、来場者の中心ですが、興味のない方、たまたまお台場に遊びに来た方が科学に関心を持って「科学とのファースト出会い」の場になることも願っています。社会のコミュニケーションの場になると素敵だと思います。
- 全体的にはすごく良かったと思います。現実的には難しいのかもしれませんが、もっと会場が集約されていたら、さらに盛り上がったと思います。

みんなでつくる7連続ワークショップ「WS4サイエンスアゴラのみらい」 Ab-619 より

科学技術振興機構は、サイエンスアゴラ出展者限定のワークショップを開催しました。科学の楽しさを「伝える」、科学についての対話や議論を行うことでよりよい社会を「つくる」ために、サイエンスアゴラという場が果たす役割について皆で一緒に考えました。

なんで出展しているんだろう

- 研究のアウトリーチ
- 世の中への貢献
- 人との出会い(交流)
- 他の人の工夫を見たい
- 実績づくり

アゴラらしさって何?

- 人との出会い
- 出展者同士の刺激
- “疑問”をもってもらう
- 実験的なことができる
- 出展者、来場者を含めた「ぐちゃぐちゃ感」:多様性

将来こんなアゴラになるといいな

- 地方にもアゴラを
- 出展者同士で内覧会、もっと出会いを
- 展示にこだわらない(ネットアゴラなど)
- 企業の積極的な出展
- カップルにも来てほしい(魅力の多様化)



■ご協力者紹介

田中佐代子さん (筑波大学芸術専門学群 准教授)

サイエンスアゴラ2013のチラシ・ポスターデザインを、筑波大学芸術専門学群2年生対象「ビジュアルデザイン演習A」の授業課題として、2013年4~5月に行いました(授業担当:田中佐代子)。受講者は41人でした。サイエンスアゴラ事務局によるワークショップ、アイデアスケッ

チの作成、最終デザインのプレゼンテーションというプロセスを経て、最終的に大石望未による「カメと子ども」のイラストレーションをキービジュアルとしたデザインが採用されました。(右写真:授業でのワークショップ風景)

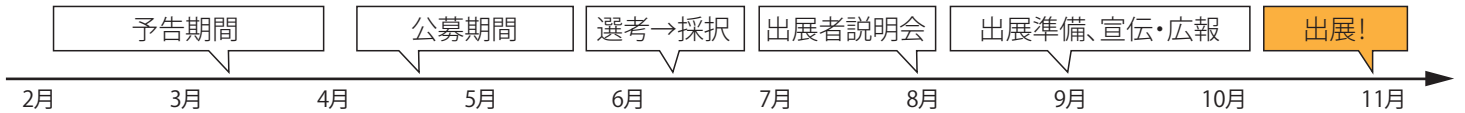


■サイエンスアゴラを「進化」させましょう

次回(2014年)、第9回を迎えるサイエンスアゴラでも出展企画の公募を計画しています。サイエンスアゴラは、多様な科学コミュニケーション活動の「見本市」の役割を果たしています。サイエンスアゴラを皆さんと一緒に進化させよう。今、私たちは一人ひとりが科学技術とどうかかわり、何を選択していくかが問われています。科学への理解や楽しさを「伝える」ためのコミュニケーションとともに、よりよい社会を

「つくる」ためのコミュニケーションを広げたいと考えています。そして、サイエンスアゴラでの交流が開催当日だけでなく、皆さんの日頃の活動においても新たな連携活動に発展し、全国各地域における自律的な科学コミュニケーションの活性化につながることも期待しています。開催主旨・開催方針をご理解の上、ぜひ出展をご検討ください。

サイエンスアゴラ2014出展タイムライン



■サイエンスアゴラ 2013 出展者にうかがいました!

"つながった"相手やいきさつについて

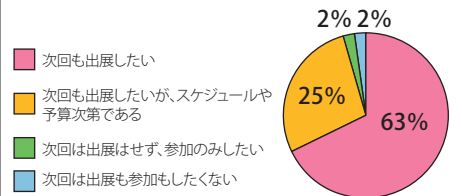
- 自分の出展ブース近くで出展していた違う分野の研究者と、お互いの研究に興味を持ち、説明をしあいました。
- 青森からいらしゃった方で、同じような活動をおひとりでやっていました。私たちの実験手法などを説明し、どんな実験をやっているかなどの意見交換をしました。
- ワークショップで出会った人にブースをたずねてもらえて、話が広がった。近接したブースの方と知り合う機会が多かった。
- 3歳児の親御さんが頬を真っ赤にして「科学ってこんなに面白いんですね。3歳のわが子がこんなに好奇心をもってワクワクしている姿を初めて見た。嬉しかった。来年も絶対に来ます!」とわざわざ言いに来て下さいました。90分間、最前列で熱心に参加して下さいました親子さんです。私も、「科学を楽しむ時間を共有して、伝わった、つながった」と嬉しくなりました。このような事例がほかにもあり、喜びとやりがいを感じました。
- 科学イベントに参加する場を探している方たちにつながった。来場者に「私たちの活動」を知っていただけ次回開催時の集客につながった。科学イベントの開催成果の展示、実演への参加を通して興味を持ってもらえた。
- 私たちは、農家さんの知恵と科学を合体させて実験を行う理科教室を行なっています。活動に関心を持ってくださった小学校関係者から「実験教室を小学校で行なってほしい」という依頼を受け、つながる事ができました。

■次回出展・参加者へのメッセージ

- 百聞は一見にしかず。プロセスとその場を共有すれば、サイエンスマインドが全開。世紀の発見は自己発見から。
- ♪ 踊るあほうに見るあほう同じアホならおどらにヤソソソ♪と歌の文句がありますが、サイエンスに従事しているなら、出展参加し多くの人達とコミュニケーションを取るべきです。
- 意外な出会いが、新しいアイデアを生みます。ぜひ参加を!
- これだけの場所で一般人が発表できる機会はなかなかありません! チャレンジする価値あります!
- 問題意識を共有できる方々と出会うことのできる、貴重な場です。
- サイエンスアゴラは、大人から子どもまで、理系・文系関係なく、みんなと一緒にサイエンスを楽しむことのできる国内最大級のサイエンスコミュニケーションイベントです。
- たくさんの知識や好奇心に出会える貴重な場所です。出展者も来場者のように楽しむこともできるので、来年もぜひ参加したいと思います。
- たくさんの方やサイエンスに出会えるチャンス! 初めてでもすべては挑戦からはじめてみよう。
- 人がいて、はじめてアゴラであり、科学コミュニケーションであると思います。人を大切にしたい出展を心がけましょう。

次回出展の意向

「次回のサイエンスアゴラは2014年11月8日(土)～9日(日)を予定しています。出展の意向をお聞かせください。」(N=92)



編集後記

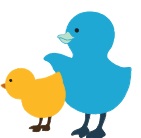
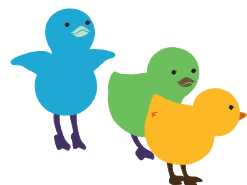
事務局として至らぬ点もありましたが、出展者の方々や関係者の方々、そしてご来場者のおかげで無事に会期を終えたこと、感謝します。そしてこの経験を次回に活かします。[TK:カンフーパンダ]

今年もさらに多様な価値観の参加者・関係者の皆さんに出会えました。感動すること、感謝すること、学ぶこと、反省することも多くありました。日頃の活動や連携展開においても、アゴラからのつながりが深まることを期待しています。[NI]

初めてサイエンスアゴラに関わりました。出展者の皆様の熱い思いを受け止めて、事務局を務めさせていただきました。多くの皆様に支えてもらい、たくさんの方を連れて何となく2日間を乗り切ることが出来ました。ありがとうございました。[HO]

今年は参加者同士の「つながり」を深めることを目的に運営を進めてまいりました。少しでも皆様のお役に立てましたら幸いです。戴いたご意見は今後のアゴラをよりよくするための糧としたい所存です。ご参加いただき本当にありがとうございました。[SK]

「『科学コミュニケーション』って何だろう。そもそも私は文系…」なんて考える間もなく、アゴラ事務局に所属しました。「知らないことを知って楽しい!」感想は、これに尽きます。出展された皆様、様々な「科学」の発信を、ありがとうございます。[MO]



INDEX

サイエンスアゴラとは	2-3
広報一覧	4-5
データ集	6-7
セッション報告	8-17
会場案内	18-19
出展企画	20-29
皆さまの声	30
2014へのお誘い	31

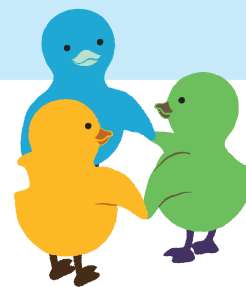
「サイエンスアゴラ(科学のひろば)」は、
次回もあなたを待っています!

サイエンスアゴラ2014(予定)

2014年11月8日(土)～9日(日)

東京・お台場地域にて開催

<http://www.jst.go.jp/csc/scienceagora/>



サイエンスアゴラ2013